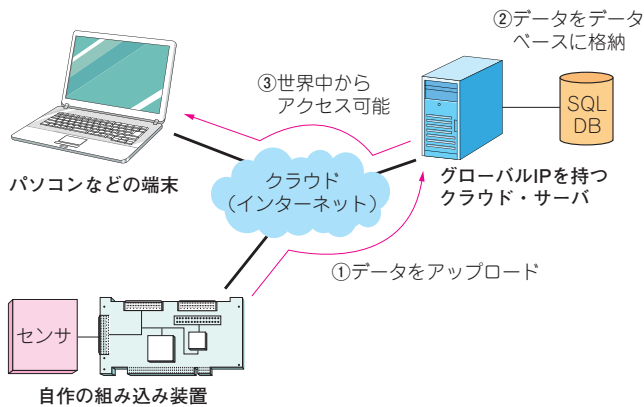


ビギナでもすぐに試せる！

クラウド・サーバの特徴

中本 伸一



- ① 組み込み機器で収集したデータを、ネットワーク経由でクラウド・サーバに送信
- ② クラウド・サーバは受け取ったデータをデータベース(SQLデータベース)に格納
- ③ ユーザがブラウザでクラウド・サーバにアクセスすると、蓄積されたデータを可視化できる

図1 クラウド・サーバを使った「どこでもI/O」のしくみ

特集では、オリジナルのサーバをつくって、世界中のどこからでもマイコンとデータI/Oしたりパソコンやスマホから操作・表示したりできるようにします。

世界中のどこからでもデータI/Oするためには、図1に示すように、サーバを構築してインターネット上に公開しなければいけません。従来、インターネット上に公開されたサーバを構築するためには、機材の購入、ネットワークの準備、OSのインストール、各種の設定などが必要でした。しかし、最近急速に普及してきたクラウド・サービスをうまく利用すると、こうした面倒な作業をすべて省略して、わずか数分でインターネット上にサーバを構築できます。

本稿では、どこでもI/Oのキーテクノロジー「クラウド・サーバ」の特徴やメリットについて紹介します。

クラウドとは

最近ではかなりの頻度でクラウドという名前を聞くよう

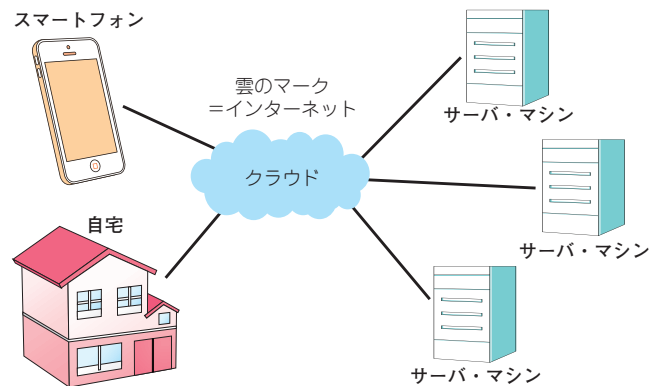


図2 インターネット上のサービスを「クラウド・サービス」という

になりました。では、一体クラウドとは何でしょうか？

もともとクラウドという名称は、インターネット網を図で表す際に、図2に示すように雲を描いていたことに由来しています。

そこから転じて現在では、自分の手元ではなく「インターネットを通じた」サービス全般をクラウド・サービスと呼ぶようになりました。クラウド・サービスには以下の大きな特徴が挙げられます。

クラウドの特徴

■ メリット

● メリット1：インストール不要！

GmailやGoogleカレンダーやGoogleマップなどは、すでに皆さんがよく利用しているクラウド・サービスの代表例です。

従来は、メールやスケジュール管理、地図閲覧用のアプリケーション・ソフトウェアを、一人一人のパソコンに個別にインストールする必要がありました。